White Stone Journal ホワイトストーン・ジャーナル　Vol. 196　2025 年 10 月発行

国際交流 Newsletter

編集・発行：白石市国際交流協会事務局（白石市役所まちづくり推進課内）　0224-22-1327　koryu@city.shiroishi.miyagi.jp

✤白石市国際交流協会の活動を紹介✤

第 4 回　国際理解を深める講演会

～ロンドン編～

2025 年 8 月 21 日（木）開催＠白石市防災センター

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

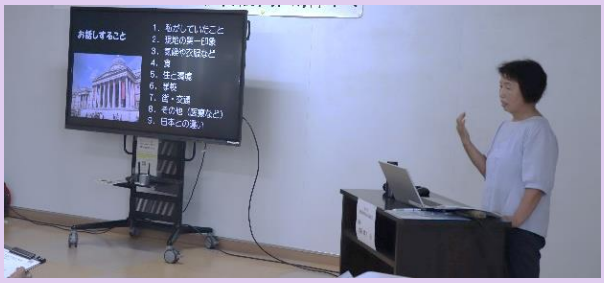
今回の講演会には、白石市出身の元小学校教諭であった髙橋純子さんを講師にお迎えし、夫の赴任で同行したロンドンとサンフランシスコ在住時で体験したことを、数々の写真を見せながらお話しいただきました。

海外在住では、2000 年 9 月にはニューヨーク同時多発テロが起き（西海岸のサンフランシスコでも学校が休校となる）、また、2020 年 3 月はコロナ渦中の帰国。大変な思いを 2 度もされました。

ここでは、その講話の一部を紹介します。

✤講話内容✤

・私がしていたこと　・現地の第一印象
・気候　・衣食住と環境　・学校　・街と交通
・その他（医療など）　・日本との違い
・2 度の海外生活をして感じたこと
・驚いたこと



▲講師の髙橋純子さん

●国際理解を深める講演会●

この講演会では、海外在住経験がある方を講師としてお招きし、その国の歴史や文化などを交えた体験談をお話しいただいています。互いの文化や考え方の違いを理解し、尊重する相互理解の姿勢を養うことを目的として開催しています。

＜講師紹介＞

・白石市出身、元小学校教諭、白石市弓道連盟会長。
・夫の日本語補修授業校赴任に同行。
・2000 年 4 月から 2003 年 3 月までサンフランシスコ、2018 年 4 月から 2021 年 3 月までロンドンへ。
・趣味は弓道と民話。

第一印象

☑紳士の国
☑古い伝統あるものを大事にしている
☑日本と似ている
　・緑を大切にしているところ
　・道幅は広くなく、左側通行である
☑ロンドンは意外に多種な人種
　白人は 6 割で、残り 4 割は多国籍（中東やインドが多い）

☑人種のるつぼ
☑移民独自の文化をそのまま根付かせる（アメリカ化しない）
☑言葉が異なっていても寛容な態度
　外国人の意を汲んでくれ、どこに行っても多国籍の人が存在するので、言語が異なることを受け入れてくれる

気候・衣服・住環境

☑夏時間がある
☑1 日のうちにころころ天気が変わる
☑それほど寒さは感じない
☑ユニクロ、無印、H&M がある
☑リサイクルと社会貢献を兼ねたチャリティー・ショップがある
　※障がい者の方が店員
☑冷房はない

☑T シャツとジーンズでほぼ生活している
　但し、イベントやパーティではドレスアップする
☑冷房はなし
☑家には必ずゲートがあり、ブザーを押して開ける仕組みになっている
☑12 歳以下の子どもだけで留守番をさせておくと罰則が課せられる
☑週に何回か子どもの「行方不明情報」のビラを目にした➡人身取引による臓器売買の被害

食

☑うまいものがないことで知られていたが美味しいお店が増えている
※イギリスが EU 加盟時に、美食家の金融マンがイタリアとフランスからシェフを連れてきたのが理由と言われている
☑パブのビールは生温い!! つまみはなしビールをレモネードやジンジャーエールで割って飲んだりする
☑アジアン・フードが人気で、特に、韓国、ベトナム、レバノンが人気
☑スーパーでは各国の食材が売っている
☑昔ながらの八百屋、果物屋がある
☑ジャパンセンターで白石うーめんが売っていた

日本語補修授業校

☑ロンドンには日本人学校と日本語補修授業校がある
☑ロンドン補修授業校は3つある。日本人学校や現地の中学校の校舎を借り、土曜日の午前中、国語のみの授業がある。
☑日本の教科書を使用しているが、1週間分を土曜日の 1 日で行うため宿題が多い
☑保護者の送迎が必要
☑教員以外の支援員が充実している（子どもの数に対して〇人と決められている）

☑授業は 1 日行い、科目は国語・算数・理科・社会、お弁当持参
☑黒板でなくピンク板で見ずらい
☑教室には国旗掲揚
☑机の並びは自由（グループ並び）
☑クレージーヘアー・デーやパジャマ・デーがある（1 日それで過ごす）
☑鉛筆と教科書は共有する
☑教員は授業が終わると帰宅
生徒指導はカウンセラーが対応
☑英語を母国語としない子どもたちのためのクラスがある

交通

☑国際免許を持って行ったが運転しなくても不自由はなかった
☑ときどきストライキが起こるが、どこへ行くにもバスと地下鉄を利用した
☑マニュアル車が多かった
☑信号機なしの交差点（ランドアバウト）にはなかなか慣れなかった
☑身障者マークのところに駐車すると、厳しく取り締まられる

☑バスや地下鉄はあるが、時刻表はあってないようなもの
☑地下鉄は落書きがあり怖かった
☑高速道路は無料だが、片側 6 車線で車線変更が大変だった

医療

☑国民保健サービス（通称 NHS）は税金で運営されており、納税者は無料で医師の診察を受けられる
※永住希望の理由の一つになっている
☑原則 GP（総合診療医）の診療を受け必要に応じて専門性の高い医療やサービスへの紹介が行われる
☑通訳も手配してくれる

その他

☑テムズ川の白鳥は英王室が所有権をもち、毎年健診し保護している

☑野球のイチロー（メジャーリーグ）の試合を観戦したが、敵チームの席だったので思いっきり応援できなかった
☑イチローの貢献は人種の壁を越えた
☑救急車（911）を呼ぶと先ず確認されることは、クレジットカードの所有有無

驚いたこと

☑美術館での撮影 OK
☑英王室独自で商標登録を持っている

☑スーパーで勝手に試食する

同行した子どもたちから・・・

外国生活を経験した子どもたちから、
《自分の言いたいことは言っていいし、したいことはしていいんだ》
《大変だったけど、両親と一緒に行ってよかったと思っている》

_____2 度の海外生活をして感じたこと
《見た目は違っていても人間みな同じ》《日本人はもっと自信を持っていいのではないか。特に技術や文化の面において》《大陸出身の外国人と接したとき、自己主張しないと生きていけないんだなと感じた》

_____いちばん苦労したことは？
《サンフランシスコで、学校のことで電話で話さなければならなかったとき、対面だと身振り手振りが使えるが、電話では言葉を発しないと伝わらないので苦労した》

講演会参加者の感想
《ロンドンで白石うーめんが販売されていたと聞いて驚いた》《観光ではなく住んでいたからこそのエピソードが多く聴けてよかった》《自分の知らないことをたくさん知ることができた》《ロンドンとサンフランシスコの相違点が解ってとても参考になった》《私自身海外に行く機会がなかったので、孫たちには是非海外へ行ってほしいと思いました》《9.11 のテロやコロナ禍という 2 度も前例のない時期での海外経験のお話を聴いて、ほんとうに大変だったんだなと深く感じた》

★ホワイトストーンジャーナル　－　国際交流 Newsletter Vol.196
★LINE 公式アカウント
登録していただくと自動的に協会からのお知らせが届くほか、
協会のホームページに簡単にアクセスできます。
ぜひお友だち登録してくださいね!(^^)!

協会ホームページとニュースレター　　公式 LINE